

社会新報

2011・1月
号 外

発行所

社会民主党全国連合
機関紙宣伝局

週刊(水曜日発行)

〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
電話代表03(3592)7515・振替00140-1-3203
●定価180円●1ヵ月700円●送料160円

2011年

いのち・暮らし・平和を守る年に

社民党花巻総支部は、昨年12月に全黨員集会を開催し、本年4月実施予定の統一自治体選挙・県議会議員選挙について、すでに擁立を決定している木村幸弘さんの勝利に向けての意思統一を行いました。県議会花巻選挙区(定数4名)においては、すでに現職4名が立候補を明らかにしています。さらに新たな候補予定者も想定され選挙戦は前回同様激戦が予想されています。

各地で県政報告会開催

木村県議は、昨年6月議会や12月議会における審議内容、県政課題や問題点について、広く市民に知らせる県政報告会を各地で開催してきました。出席された市民の方々からは、「森のトレー問題など、よく分からなかったこと

が理解できた。」「社民党が予算案に反対した理由が分かった。」と、木村県議の報告に聞きいっていました。

また報告会では、「米価下落で農家の収入が減少すれば花巻市全体の経済が落ち込む等影響が大きい、何とか対策すべきだ」との、厳しい意見も出されました。

木村県議は報告会における出席者からの貴重な意見に真摯に耳を傾け、今後の活動に活かしたいとしています。

木村幸弘の基本政策

木村県議は4月の県議会議員選挙に臨むにあたって、県政課題について次の基本政策を明らかにしました。

- ①いのち・健康・福祉を守る
- ◇保健福祉行政の一体化で地域医療施策を充実させる。
- ②雇用・暮らしを守る
- ◇地場企業の育成や企業誘致で働く人の雇用拡大を図る。
- ◇雇用と生活の相談・支援事業の強化による切れ目のない雇用対策を進める。

お知らせ

木村幸弘の

新春交賀会

◎日時

2月12日(土)午後3時

◎会場

なはんプラザ「ホール」

◎会費

一人3000円

◇詳細は、社民党花巻総支部
にお問い合わせください
電話 (24) 3445番



岩手県議会議員

木村幸弘

明けまして

おめでとございませう

皆様にとって良き年で

ありますよう祈念します

私がんばります

プロフィール

- ◇1959年(昭和34年)12月20日生まれ
- ◇花巻市山の神826-2
- ◇家族 妻、妻の両親、子ども3人は自立
- 【経歴】
- ◇岩手県立黒沢尻工業高校卒
- ◇国鉄盛岡管理局北上保線区入職
- ◇花巻地方労センター青年部長、事務局次長(専従)
- ◇花巻市議会議員4期
- ◇中央みのり幼稚園PTA会長
- ◇花巻市立南城小学校・中学校PTA会長

【主な役職】

- ◇岩手県議会議員1期・総務常任委員
- ◇社民党岩手県連合政策審議会議長・青少年局長
- ◇社民党花巻総支部代表
- ◇岩手地方自治研究センター専任研究員
- ◇岩手中部政策センター理事
- ◇自治労岩手県本部自治研推進委員会研究員
- ◇花巻花南地区体育協会理事
- ◇学校法人花北みのり学園評議員
- ◇花巻市相模協会会長

【司会】若柳・花巻市議会議員

明けましておめでとうござい
ます。新年早々お集まりいた
だきましてありがとうございます。
本日は、今年の干支「兎」生
まれの年男・年女の皆さんに県議
会議員木村幸弘さんを囲んで、
今年はどうなるか、抱負・
夢等について対談していただ
きたいと思います。

【山本(男)】1951年3月生れ

【59歳】会社員

今年3月で定年退職します。
何といっても健康第一でいた
いです。親父の介護もあるし。

【佐々木(女)】1975年3月生れ

【35歳】団体職員・臨時

自分の趣味を見つけないとい
うこと。今年こそ歯を治した
いです。

【高橋(男)】1963年2月生れ

【47歳】兼業農家・会社員

やはり家族の健康を願ってい
ます。筋力も衰えてきたので野
球を1年間通じてやりたいです
ね。

【木村】皆さん全員が健康を一番に

挙げられました。ささやかなこ
とであるけど、最も大事なこ
とですよ。家族を支えていく
ということを目標にされてる。

【司会】

いま、私たちを取り巻いて
いる経済や社会問題は深刻な
ものがありますが、皆さんが感
じていることは何でしょう？



(山本さん) 定年を迎え、
まず健康第一。

【山本】

定年で年金は一部支給さ
れるがとても生活できる金額で
はない。若いときは気にしてい
なかったが現実になって厳しい。
自分たちの年代は、親の介護問
題もある。年金で暮らせないの

で共働きせざるを得ない、施設
にも中々入れられない。どちら
かが仕事をやめざるを得ない。

【佐々木】

自分は、臨時職員で、
雇用期間が定められている。職
安に行っているが中々仕事はみ
つからない、将来に不安を感じ
ている。高齢の方のほうが元気で、
私たち年代が元気がない。気に
なっていることは、私たちがマ
スコミに左右され過ぎているこ
とが心配です。

【高橋】

いま
の与党が野
党時代に言
ったことを
簡単に変
えている。

子ども手
当ても、一
番金の掛か
る時の教育
費に充てる
べきだ。事
業仕分けも
当初は「オ
ッ」と思っ
たが、今は
パフォーマ
ンスに過ぎ
ないと感じ
る。私は中
小企業で働
いているが
平均年齢は45・6歳だ。若い
人を採用できないでいる。

【司会】

木村さん、皆さんの話を
聞いている感想は？。

【木村】

漠然とした不安、現実に
直面している不安。そして今の
政治のあり方への怒りや不満を
ですね。山本さんは高齢者雇用
安定法による再雇用はないの？

【山本】

全員が採用されるわけでは
ない。

【木村】

年金では生活できない。

【高橋】

一方で親の介護問題もある。施
設問題等、国の課題でもあるが、
県や、その自治体独自の対策
の必要性を感じている。

【佐々木】

子ども手当てでも自分も3人の
子どもを育て何とか社会人とな
っているが中身は自立できてい
ない、未だスネをかじらないと
生活できない。本にお金の掛
かるのは、中・高・大学の教育
費だ。また、確かにマスコミの
影響は大きい、いまは、その内
容を見極め
る目を持つ
ことが必要
だと思う。



年男・年女の新春対談



(高橋さん)

農業の方は赤
字大きな家庭
菜園だと思っ
てやっている。

【高橋】

日本は加工で飯を食って
きたからある程度仕方ないとも
思う。自由化になった時に「お
いしい米」ができ、対応できる
かだ。ただ、自分はそうなった
らどうするか考える。

【木村】

県議会では全会一致でT
PP反対の決議をした。確かに
農業、農家を守り、食の安全の
ために必要なことだ。しかし一
方では産業活性化を図り守る必
要もある。それが政治に求めら
れている。

【佐々木】

もちろん野放しでのT PP、法
人税減税であつてはならない。



(佐々木さん)

員さんを見て
いた。でも、
身近で見てる
と、本当に頑
張っている、
サービス残業はあたりまえ、休
めないでいる。だけどバッシング。
気の毒だ。

【司会】

それでは、ここで、木村
さんに期待し、望むことを一言
ずつお願いします。

【山本】

とにかく雇用の場を拡大
して欲しい、底辺の方々の声を
聞いて欲しい。

【佐々木】

私たちは年代は年金も社
会保障も期待できない、正社員
で働けない人が増え、格差が広
がっている。何とかならないかな！

【高橋】

私は短い言葉で「現地で
現物を見て欲しい」と、いうこ
とです。

【司会】

それでは木村さんから。

【木村】

皆さんの不安は私自身が感じて
いる不安と共通している。これ
をどう伝え、訴えていくかが大
事であり、私の任務だと思っ
ている。
健康・生命・福祉を守ること。

雇用の確立で暮らしを守ること。
そのための農業や産業への支援。
次世代を担う子どもたちの健
全な育成とゆとりある教育環境
の整備。そして平和な社会。私
はこれらの課題を基本政策の柱
にして、今年4月の選挙戦に臨
みたいと思います。率直なそし
て貴重なお話やご意見ありがと
うございました。

【司会】

皆さん、本日はありがと
うございました。
今年一年が
皆さんにとつ
て良き年であ
りますことを
お祈りし、新
春対談を閉じたいと思います。



(司会・若柳さん)



社民党党首
福島瑞穂来る



社民党時局講演会

◇日時 3月19日(土)午後3時

◇場所 なはんプラザ

◇弁士 社民党党首

福島 瑞穂

弁士 社民党県連合政審会長

木村 幸弘